

文化・芸術

「習作・学徒出陣」

1944年ごろ、水彩、鉛筆、紙
38・0号×57・0号



鈴木 満 (1913〜75年)

鈴木満は、大川美術館のコレクションの主軸となる画家・松本竣介と同時期に太平洋戦争研究会で油彩画を学び、日展などで活躍した画家です。鈴木満の代表作として知られるのが、第2次世界大戦中に陸軍美術展に出品された「習作・学徒出陣」は、その準備段階において制作された貴重な油彩画「学徒出陣」の下絵の一つです。油彩画の「学徒出陣」でリア陣学徒壮行会で、入隊の決まった大学生たちが校旗を掲げて行進する姿をモチーフとし、戦闘機の飛ぶ戦場を彼らが力強く駆ける情景を描いた約3畳の大作で

大川美術館コレクション展
「特集展示:戦後80年松本竣介と
同時代の画家たちPart 2」から

《名画の扉》

「習作・学徒出陣」は、その準備段階において制作された貴重な油彩画「学徒出陣」の下絵の一つです。油彩画の「学徒出陣」でリア陣学徒壮行会で、入隊の決まった大学生たちが校旗を掲げて行進する姿をモチーフとし、戦闘機の飛ぶ戦場を彼らが力強く駆ける情景を描いた約3畳の大作で

(佐藤)